

物質循環の研究 最前線！！

660 種以上の動物が生息！！

きれいで豊かな海を維持するためには、太く・長く・滑らかな物質循環が必要です。JF シェルナースをはじめとする貝殻利用技術では、その物質循環の主役を担う小型動物を非常に効率良く増やすことができます。貝殻には実に 660 種以上の動物が増殖すると言われ、豊かな海を未来へ残すためのキーパーツの 1 つになっています。

最新の実験では・・・

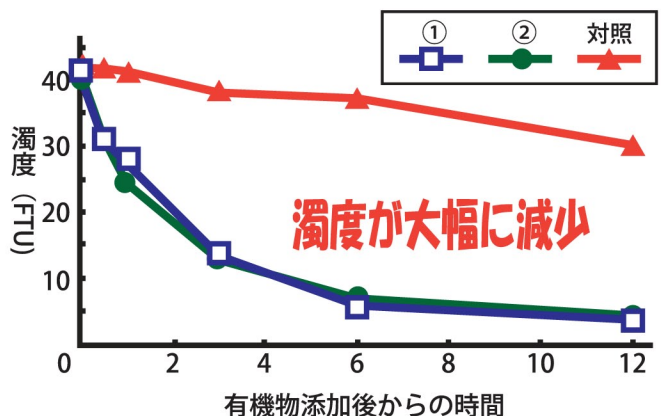
さて、その物質循環を促進することによる環境改善の効果についてですが、NEWS28号でざっくりと説明していますが、植物プランクトンを餌として使用した実験結果であり、実際の海ではどれだけの効果になるのかは正確に把握できていません。

そこで、今回はその効果をより正確に導くために、実際の海で採集した懸濁有機物けんたくゆうきぶつ（汚泥など）を使用して実験を行いました。



自然界の現象を再現！！

その結果、貝殻基質に付着した動物が有機物をしっかり取り込み、分解することが再確認され、自然界における有機物取込分解機能を再現することが出来ました。今後は、動物の種類ごとの効果について明らかにしていきます。



上記は、貝殻利用研究会および NPO 法人里海づくり研究会による「貝殻利用による物質循環促進効果の定量化調査報告書」から一部抜粋した内容となっています。